

小さい者の一人が減びることは天にいますあなたがたの父のみ心ではない。



社会福祉法人  
**小羊学園**

〒433-8105  
静岡県浜松市北区三方原町 2709-12  
電話：053-414-1833 FAX：053-438-7707  
E-mail sasaeru@kohitsuji.or.jp  
H.P http://www.kohitsuji.or.jp/

発行人：稲松 義人  
印刷所：S R S株式会社  
定 価：一部30円

2014年12月20日  
第**379**号

未成年者頭所感

理事長 稲松 義人

新年になって、何人かの方が、「今年は小羊学園の年(ひつじ年)ですね」と声をかけて下さった。大意はないだろうが、そう言われると何か小羊学園にとつては特別な年なのかなという気がしてくる。個人的なことでは恐縮だが、私自身は今年選歴を迎える未成年生まれで、36年前の未成年に小羊学園に就職した。偶然の巡り合わせである。

そう思いながら、これまでの人生をふり返ってみると、その時には強い信念をもつて一大決心をしたようなつもりでも、時間が経つと不思議に何かに導かれていたのではないかと思えてくる。そのときには良かれと思つて選択した道も、実際のところ最終的にどこにつながっていくのかが見えていたわけではない。自分自身の意志ではなく、そこに関わってくださった多くの人たちの思いに助けられて今日があることを気づかされる。未成年だからと言つて、小羊学園が特別なことをするわけではない。実際には、目の前にある課題に精一杯向き合つていくことしかできない。小羊学園が今直面している課題に、どのように向き合つていくのかという議論になると、理事長としてまずは私が方針を示さなければと

いうプレッシャーを感じることもある。何とか期待に応えたいという思いもあるが、実際にはみんなが納得できるような方針を示すことはできない。何か新しい事業(取り組み)を進めようとする、経済的裏づけを求められる。しかし、新しい取り組みに、あるいは制度的に認められたこと以外の取り組みのために経済的な保障はない。結局は、予算を確保して、明確な方針にたつた事業計画を示したいと思つても、思いどおりにはいかない。

それでも実際の事業は、それぞれの持ち場で日々なされている職員たちの努力、周囲からの小羊学園に関わってくださる皆様からのご支援によつて導かれていく。私が示している方針のような文意は、その歩みを感じながらあとから意味づけしているのではないだろうかと感じている。小羊学園のパンフレットに「わたしたちの願い」というタイトルで掲載されている3つの文もわかりである。

☆心身の発達に大きなハンディキャップを負った人たちが、そのライフステップに添つて必要とする支援を精一杯提供したいと願っています。

☆様々な障がいのためコミュニケーションにハンディキャップのある人たちを受け入れ、一人ひとりの命の豊かさを認め、共に分かち合いたいと願っています。

☆様々な弱さをもつて生きる人も、個性ある一人の人間(市民)として尊重されるように、地域の中に理解者の輪を広げ、真に平和の社会を実現したいと願っています。

いまさら新しく示すことではない。これまで、その時代その時代に勤めた職員一人ひとりが、また周囲から様々なかたちで関わってくださった方たちが、こんな願いをそれぞれに抱き、目に見えるかたちにしたいたいと思いつつながら、それぞれが力を尽くして下さったことの積み重ねが小羊学園の歴史ではないかと思う。

羊という動物は視力が弱く、導く者の声を聞き分けて、その声を頼りにして従順に、群れをつくつて進むのだそうだ。今年もこれまでどおりでよい。坦々と歩みたい。羊の群れにリーダーは見当たらない。全体で導く者の声を聞きながら、べエー、べエーとお互いに声を確かめ合いながら、迷つたときには立ち止まり、散らされそうになりながらまた群れをなし、気がついたらいつのまにか大きな群れになっている。個々の羊は群れの大きさは気にかけない。自分の周囲にいるものどうしの関係を頼りにして歩いていく。気がつけば、それでも来年には50年の道のりを歩んできたことになる。すべてにおいて導かれていることに感謝である。

## 小羊学園のクリスマス

キリスト教に基づいた小羊学園では、毎年クリスマスを大切にしています。主イエスキリストのご降誕を祝し、みんなでお祝いをします。今年も、子どもたちのクリスマス会をご報告します。

### 「温かい雰囲気にもまれて」

ばびるす 齋藤 実香

♪お〜ほしがひかる♪12月に入り、どのクラスからも元気な歌声が聞かれるようになりました。温かい雰囲気を出したいという思いから室内の飾りなどを子どもたちと手作り。期待感をもつて当日を迎えることができました。当日は、素敵に飾られたホールやご家族の登場で会が始まる前からワクワクしている子ども達。ご家族のひざの中に入る子どもたちは嬉しさや安心感に包まれていました。そして、クリスマス会の始まりです。おじちゃん先生(施設長)による紙芝居や、毎年恒例となった「そよかぜ」さんによるブラックシアターでは、子どもたちもその世界へ一気に引き込まれているようでした。保育者からの出し物は、マジックショーでした。種も仕掛けもない大きな家。皆で魔法をかけると・・・ガタガタガターと家が揺れジャジャーンとサンタさんが登場。目をまん丸くして驚きピョンピョンと跳ねて喜びを体で表現



している子どもたちの姿がとてもかわいらしかったです。サンタさんとふれあいあそびをし、プレゼントをもらい楽しい時間をすごしました。忙しいサンタさんとはあつという間にお別れ。「来年もきてね」と手を振って見送りました。最後のお楽しみは給食。先生の愛情が詰まったスペシャルメニューを皆で食べました。今年も多くのご家族の方に参加していただきました。先生たちにとつての一番のプレゼントは皆の笑顔。心がほかほかとする素敵な時間となりました。

### 「お腹いっぱい楽しかったね！」

ばるしあ 森下 理恵

12月22日、子供たちは終業式でした。「今日のお昼ごはんはなに〜?」「なに〜?」「遊ぶの?」「おやつはなにかな〜」など、子供たちは学校からぱるしあに帰る車の中からとっても楽しみにしていました。

部屋に入るとテーブルに準備されているお弁当がみんな気になって仕方ない様子です。急いで荷物を片付けてトイレを済ませ手を洗って、みんな席に着いたらクリスマス会の始まりです。

まずはシャンメリーで乾杯!次はクラッカーをみんなで鳴らしました。少し音にびつくりしたけれどパーティの雰囲気が出ました。

「メリークリスマスー!」

そして、みんなで手を合わせて「いただきます!」今日はいつもとより少し豪華なお弁当を注文しました。子供たちが好きなおかずばかり・・・だったと思います。「おいしい」「これ好き!」などお話ししながらお腹いっぱい食べて、楽しい昼食の時間でした。

食後少しのんびり過ごした後は、いよいよお待ちかねのクリスマスプレゼントがもらえるゲームの開始です。職員お手製のダンボールで作った長〜いトンネルを抜けたら、パン食い競争ならぬチョコ

パット食い競争でゴール。

みんな上手にくぐり抜けて、チョコパットをキャッチークリスマスプレゼントをもらって嬉しそうです。ゲームが終わった後はダンボールトンネルでみんなが思いつきり遊んで楽しみました。

たくさん遊んだあとはおやつです。みんな大好きなドーナツを食べました。今日はいっぱい食べていっぱい遊んで楽しいクリスマス会を過ごせたと思います。子供たちにとつても素敵な笑顔がっぱいの時間でした。





「準備は要し楽しむこと」

ドルチェ 原田 麻衣

今年も一年の大イベント、クリスマス会が無事終了しました。今年度は、第2ドルチェが開設され、初めてのドルチェ、第2ドルチェ合同クリスマス会となりました。

両事業所のスタッフが連携し、会議や各担当の打ち合わせを密に足並みを揃え、当日に向けてすすめていきました。毎年、親子参加のクリスマス会となるため、ケーキ作りや1年の振り返り、スタッフによる出し物等、親子で楽しめる企画を考え、当日は子どもも大人も楽しめる会になったのではないかと思います。

また、秋頃から子どもたちも一緒にクリスマスに向けての準備を、日々の中で行ないました。子どもたちから家族に向けてのクリスマスプレゼントを一緒に作ったり、部屋や玄関に飾るブーツやリースの装飾を作ったり、歌やダンスを楽しんだり…。クリスマスをわくわくと楽しみに待ちわびている子どもたちの姿も多くみられ、スタッフも一緒にその時間を共有することができた気がします。

スタッフ間では、毎年恒例のスタッフによるダンスやコントの出し物の練習を週2回集合して行い、仲も深めることが

できました。(本番は、スタッフ自慢の乗りの良さ・アドリブ力を生かし、盛り上がり、子どもも大人も笑顔の多い楽しい時間となりました！)

クリスマス会を終え、いくつかの反省点もありますが、当日だけでなく、それまでの過程も含め、楽しく充実した時間を、子どもたちと一緒に過ごすことができたと感じます。

行事をすすめていく上で、当日参加する方々が楽しんでもらえるようにすることも大切ですが、それだけでなく、過程の中で、スタッフが楽しみながら、子どもたちにも何か良いことが待っている予感を感じてもらえるように関わること、準備の段階から、子どももスタッフも一緒に楽しんでいくことが重要だということを確認しました。

今後も、子どもたちやスタッフ皆がわくわくする企画を考え、提供していけたらと思います。



「楽しいクリスマス」

わか な 栗田 有麻

わかなのクリスマス会は12月25日に21名のみなさんと行いました。いつもと違うクリスマス会の装飾に、朝から目を輝かせ「今日はどんなお楽しみがあるんだろう」といった期待感が伝わってきます。

元気満々のみなさんですから、午前中は「はままつ友愛のさと」の体育館を借り、トランポリンや三輪車、ボール遊びや子供用の滑り台など、職員と一緒に身体を動かし、それぞれが元気に伸び伸びと過ごしてきました。

わかなに帰るとクリスマスランチがお待ちかねです。厨房から温かなクリスマスランチが次々と出てきます。オムライスやポテトには「スマイル」がかたどられ、「凄い！かわいい！」とコメントするお子さんもいました。ポタージュースやチキンナゲット、サラダ、もちろんケーキも出てくるスペシャルランチです。みなさんすっかり平らげ少し休憩…。ウトウトする方もいれば楽しくてずっとウキウキしている方もいる休憩時間です。

休憩後はおやつ作りです。みんなでフルーツを作りポッキー等様々なお菓子でトッピングをしていきます。みなさん「入れる」「混ぜる」「分ける」といった事は学校やご家庭でたくさん経験をして

積んでいるのか、慣れた手つきの方が結構いらつやいました。さつきスペシャルランチを平らげたばかりなのですが、早速「いつ食べるの？」と聞いてくる方も続々。「おやつに食べましょうね」と伝えてみんなで片付けをしました。

「食べてばかりではいけない！」という事でおやつ作りの後はみんなで散歩をしてきました。空は青く、空気も澄んでおり、からっ風は相変わらず強いですが、みんなの手をつなぎ元気よく歌を唄ったりしていると、わかなに戻る頃にはみなさん笑顔になっています。

おやつにフルーツを食べっていると、お待ちかねのサンタクロース登場です！今日一番の飛び切りの笑顔でプレゼントをもらいます。わかならしい楽しいアクティブな1日となりました。



**成人を祝う**

◇小羊デイケアホーム

年が明けると、新年会で新年を祝います。恒例になっている餅つきを、あんこや大根おろし、黄な粉、更にお雑煮も作り昼ご飯として頂きました。今年成人を迎える利用者さんは3名おり、紅白餅と一緒に力一杯頂きました。「よいしょ」と掛け声を揃えながら一生懸命についたおかげで、とてもおいしいお餅がつきあがりしました。午後には、凧揚げと書初めのグループに分かれ、新年の雰囲気を楽しみました。書初めは、今年の目標を紙いっばいに表現しました。成人を迎える3名も、楽しく取り組みました。新成人の利用者さんには記念品を贈り祝いました。色紙には職員からのお祝いの言葉が寄せられ、デイケアホームの皆が今年一年元気に生活できる事、成人を迎える3名の仲間たちが立派な大人になって行ける事を祈っています。

◇オリーブの樹

オリーブの樹では毎年1月の第2金曜日にお餅つきと、成人を祝う会を行っています。お餅つきのもち米はご近所の青島さんが毎年寄付してくださり、そのお米を使ってみんなでお餅を作ります。成人のお祝いはその年に成人を迎える利用者と職員をお祝いし、花束

や色紙をプレゼントし、皆さんからお祝いの言葉をもらいます。今年も2名の利用者が成人を迎えられ、「よいしょーよいしょー」の掛け声とともに、大きな杵を持って餅つきを楽しんでいました。



デイケアホームの成人祝い

小羊学園を支えるボランティア

**西部あさぎり会 様**

西部あさぎり会は、県教育委員会発行の「母と子の生活」の愛読者の皆様が集まって親睦を深められた団体。昭和47年に山浦先生の講演を聞かれたことをきっかけに、小羊学園へのボランティア活動が始まり、以後42年間毎月1回の洗濯物奉仕にお越しくださっています。当時は一度に30人ほどの方が来られたこともあり、1日掛けて清掃などの奉仕もして下さっていたようです。現在は、午前中に洗濯物畳や繕いものお手伝いをして下さっています。これからもお身体に気を付けてお元気に小羊学園とお付き合い下さいね！感謝・感謝です！



オリーブの樹の成人者2人



**編集後記**

小羊学園は2016年に創立50年を迎える。50周年にあたり、これまでの法人の歩みを整理する作業を進めていきたいと役員会でも話している。今回、取材を通して長年ボランティアをして下さっている【西部あさぎり会】のご婦人とお話しさせて頂いた中で、地域の皆さまに下支えいただいていることを実感。本当に有難いことである。50周年に向けて紙面でそのお働きをささやかではあるが、ご紹介させて頂いたかどうか考えている。

厳寒厳しい折です。巷ではインフルエンザも流行りだしています。どうぞ皆様お身体ご自愛ください。(F)

**小羊学園を支える会**

2014年度 寄付金報告

11月受付分 156,000円 (17件)  
累計 3,831,858円 (170件)

小羊学園への寄付金振込み先

郵便振替口座 00800-8-107785  
□座名義 社会福祉法人小羊学園  
ゆうちょ銀行 089店 当座預金0107785  
□座名義 社会福祉法人小羊学園

ご希望があれば、郵便振替用紙をお送りいたします。

下記へご連絡ください。

小羊学園を支える会事務局 (鈴木)  
小羊学園本部 ☎ 053-584-3337